

# 『子どもと福祉』好評連載中の 「当事者の語り」が単行本になりました!

Vol.1～Vol.4に掲載されたものに加筆・修正を加え、さらに新たに10人の方に語りおろしていただきました。巻末には、社会的養護に関する用語解説や全国の当事者団体の情報も収録しました。

## 【内容構成】

はじめに—自分史を語るということ、そしてそこから学ぶもの  
(喜多一憲)

### I 今日まで・そして明日から

- 居場所をなくす不安と闘いながら (小林 大)
- 夢はあきらめるものではなく、つかみ取るもの (瀬川舞佳)
- 俺の「ろくでもない人生」からの逆転 (松本明祐)
- 面白くかつこええ大人を目指して (あらい ちえ)
- 生んでくれてありがとう 育ててくれてありがとう (蛭沢 光)
- 歩み出す一歩を支えてくれる言葉 (河口智美)
- 生きるために必要なことは施設で学んだ (松井啓介)
- 施設に入所して私は変わりました (坂井田美穂)
- さまざまな人との繋がりを得て (徳廣潤一)
- 人が私を育ててくれた (原島ひとみ)
- 「いい経験ができた26年間」と言えるようになって (成田雄也)
- 世界は、愛で満ちてほしい (鎌田成美)

### II 確かな居場所

- 「日向ぼっこ」—孤独を癒す場所 (小金丸大和)
- 自立援助ホーム「ふきのとう」と私 (澤田正一)
- 若松寮に行けてよかった (澤村真由美)
- 二組の里親家庭で育て (高橋成貴)
- いまだかつてない「わたし」の語り (中村みどり)
- 血縁によらない繋がりを経験して (山口匡和)
- 自分の人生が好き (佐野 優)
- いつも子どもたちの目線で (清水真一)
- プライマリー—確かな居場所ができた今、思うこと (関戸敏夫)

あとがきにかえて (吉村美由紀)

資料◎全国の当事者団体／用語解説

かつて児童養護施設や里親のもとで生活をした子どもが語る21の物語。虐待など壮絶な体験を経ながらも、生きる支えとなった人との確かな出会いから、自らの思いを整理し社会に発信していくことと成長するまでの魂の軌跡。



四六判／並製／240頁

# 施設で育った 子どもたちの語り

『施設で育った子どもたちの語り』  
編集委員会 (編)

◎定価1,680円  
(本体1,600円+税)  
ISBN978-4-7503-3614-5

**明石書店** 〒101-0021  
東京都千代田区外神田6-9-5  
TEL.03-5818-1171 FAX.03-5818-1174

**ご注文方法**

このチラシをご持参の上、最寄りの書店へご注文ください。  
直送をご希望の方は、左記電話またはFAXにてお申し込みください。  
代金引き替え郵便でお送りします (送料一律300円)。

番線印
冊

## 施設で育った子どもたちの語り

定価1,680円 (本体1,600円+税)  
ISBN978-4-7503-3614-5

お名前

TEL

ご住所 〒

(アパート・マンション名・部屋番号)

**明石書店**

TEL 03-5818-1171  
FAX 03-5818-1174